

会 議 録

件 名： 第2回一宮町中央公民館建設検討委員会
年 月 日： 令和6年8月28日（水） 14:00～16:10
場 所： 一宮町保健センター 会議室
出席委員： 小関義明委員・川城茂樹委員・藤井幸恵委員・小高 隆委員・立花亜由美委員
大場謙次郎委員・渡邊恵之助委員・岡田一人委員 藤井 敦委員・村山裕紀委員
長島豊美委員・齋藤繁美委員・吉野繁徳委員・福邊克吉委員・中村雅紀委員
・鈴木祐子委員
欠席委員： 鶴沢清永委員・川田しのぶ委員
事務局： 教育課 渡邊課長・山口副主幹・宇野主査・中村主査補・田中
関係課職員： 総務課 高田課長・企画広報課 渡邊課長

1 開会

2 委員長挨拶 小関委員長

3 報告事項

- (1) 一宮町中央公民館建設検討委員会における傍聴要領について
前回会議にて傍聴人の可否について、可として承認されたため、検討委員会の傍聴要領について説明した。
- (2) 第1回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について
検討委員会議の議事録を事務局が読み上げ。

3 議事

(1) 意見交換会

1人約5分を目安に、各委員より意見を述べていただきました。

(川城茂樹委員)

公民館は学びの拠点であり、学び以外の利用目的ができない等の縛りがある。これからの町づくりとして、新しく公民館を造るには、学びプラス活動の拠点にしていかなければならないと思う。
公民館（学びの拠点）であるから、事務局が教育課になっているが、本来ならば役場の企画課が音頭をとっていくのが良い。
公民館という位置づけだと補助金（建設費用）はないようですので、公民館以外での補助金についても模索してもらいたい。
給食センターや学校の修繕が遅れていくのは、子ども達にとって死活問題。
まずは公民館の耐震工事で、建物の対応年数を10～15年延ばし、その間に補助事業を探しながら、皆さんと協議して50年先を見据えた新たな施設を作るべき。

(藤井幸恵委員)

図書館、児童館、資料館など、町民の皆様からの要望が多く、既存の公民館の用途にこだわる必要はないのではないか。
教育課が事務を主導しているが、町の重大課題であるため、防災であれば総務課、児童館であれば子育て支援課など、施設機能に応じ各課をまたいで進めていくことにより、補助金を得ることもできるのではないか。
検討委員会の開催回数が少なく、納得のいく議論が出来ないと推測される。
町民の皆様のを要望を可能な限り盛り込むため、各課をまたいで広く議論してほしい。公民館ではなく複合的な施設の整備を目指すとなれば、事業スケジュールも変わると思うので、必要な手続きなどを教えてほしい。

(小高 隆委員)

建設するには財源が必要。学校などの教育施設であれば補助金があるが、文化施設には補助金がほとんどない。

防災施設であれば補助金はあるが、これで建てると教育委員会の文化施設ではなく、町の防災施設となる。

公民館という目的で建てるのが良いのか、十分に検討してほしい。

要望や意見がたくさんあっても、財源がなければ建設はできない。

(立花 亜由美委員)

生徒の保護者の立場で教育委員に入らせていただいています。

公民館も大切ですが、学校の雨漏りや、給食センターなど、現在の子どもたちに、今すぐ必要な財源もある。

どこに限られた財源を割り当てていくのか、全体を見て、皆さんの意見をまとめて考えていけたら良いと思います。

(大場謙次郎委員)

公民館だけを先にやるのが決まっています、公民館ありきで検討委員会が始まっている。まず先に、何の工事を（公民館、学校、給食センターなど）やっていくのかの議論から始めるべき。

公民館を、新築にするかリフォームするかの議論があるが、これには賛否両論があって結論が出ないと思う。教育委員会が事務局になっているのがおかしく、公共の建物については財政や企画の担当課が行うべき。

(渡邊恵之助委員)

文化協会会長として発言させていただく。

文化協会の会員が一番、公民館を使用していると思います。

今の公民館の使い勝手については、特に問題はありませんが、できるならば郷土資料室を追加してほしい。また、お年寄りに使いやすいトイレにしてほしい。エレベーターを付けてほしい。靴を履き替えるのは年配の方には大変なので、靴（下足）のまま中に入れる方がよい。

(岡田一人委員)

小中学校長3校を代表して検討委員に参加していますので、子ども達や保護者の方がどのような利用ができるのかについて話をさせていただく。

まずは町民が広く活用できる施設が良いと思う。

公民館がどのような目的の施設か、大人は想像できると思うが、子どもたちにはよくわからないと思う。施設の目的をがっちり型にはめて、使い道が限られるようにはしないほうが良い。

子どもたちが見たり、発表などに参加できる場。読書などの閲覧ができる場所。話しをしたり交流できる憩いの場。小学生でも利用しやすい場であってほしい。飲食のスペースもあってほしい。

都会には、小さな子供と保護者が遊べる屋内スペースや、遅い時間でも利用できる施設があるが、都会でない地域には、このような施設がない。

公民館の名称も、親しみやすいよう、公募など、小さな子供の意見や保護者の意見も取り入れて進めてほしい。

(藤井 敦委員)

財政の問題や、仕切り直しの発言もありましたが、公民館整備は2017年の議会から議論されており、新築にしてもリフォームにしても、ようやく公民館をやろうとなってきており、検討委員会も進めてきたので、ここで公民館の議論を先送りしたら本末転倒になってしまうと思う。

検討委員会で話し合い、どのように進めていくのか先送りであっても財源や期限を決めて3年や4年後に建設をしましょうということになれば実りのあるものになると思う。

長柄町公民館(新)と一宮町公民館(現況)の平面図を比較すると、建物の形が違い一宮町の公民館は玄関などに無駄なスペースが多く、リフォームしても無理があると思う。構造的にリフォームは無理があり、財源が無駄になると思う。

長柄公民館(新)の財源は町一般財源55%、国45%なので、やり方次第だと思っている。

※別添、配布資料を参照

(村山裕紀委員)

子ども会、現役の保護者として発言させていただきます。

公民館という定義や名称については、今後何を作るか計画が決まり次第適切な名称を付ける方向で良いと思います。

一宮町には児童館が無く、子どもたちが自由に入出入りできる施設がない。

保健センター・保育園・こども園はあるが、小学生から高校生の居場所として活動できる場が無いので、そのような場所があれば良い。

おしゃべりが出来る場所を、皆が求めている、予定がなくても集まれる場所であってほしい。

ハード(建設工事)だけでなく、ソフトの部分。誰がこの建物を活用していくのか。公民館スタッフは指定管理(民間)なのか、または、町職員を育てていくのか、ハードの面だけでなく、ソフト面も検討していく必要がある。

建物は上手くいけば補助金で初期コストを下げられるが、その後のランニングコストもかかる。稼ぐ公共施設(テナントを入れたり、イベントでの収入など)としてランニングコストを軽減しながら新しい公共施設が活用されていくと良いなと思う。

※別添、配布資料を参照

(長島豊美委員)

財源がないとの事ですが、一宮町のふるさと納税は、海が近いのに海産物などの食べ物がほとんどない。

長生村や勝浦市は、ふるさと納税で立派な施設を建設している。

一宮町も、もっと、ふるさと納税で稼いで、財源にしたら良いのではないかと。

町の基金などについても事情を説明し、寄付をお願いする働きも良いのではないかと。

女性会としては図書館の要望が一番多くありました。図書館を作るとそれだけで終わってしまうので、大きな部屋を3つ作り、部屋の壁を全て本棚や展示ができるようにしたり、部屋を多目的に使えるようにできたら有効だと思う。

(齋藤繁美委員)

つくも会の代表として、町内の14の老人クラブよりアンケートを取りましたので、そちらを参照ください。

※別添、配布資料を参照

立地や使いやすさ、予約の取りやすさに対する満足度は高い。

トイレの様式化、階段の傾斜がきつい、スリッパへの履き替えが不便。

バリアフリーに対する不満が多かった。

避難所機能を求める声や、図書室の充実を求める声が多く寄せられた。(抜粋)

(吉野繁徳委員)

社会福祉協議会としては、つくも会やボランティア連絡協議会の皆さんと一緒に検討委員会のなかで意見を出していきます。

また、上総一ノ宮駅東口にある3,000㎡の町の土地の活用、民間企業との連携を検討してみてもどうか。

(柳澤伸子委員)

配食ボランティアで公民館の調理室を使用しています。

おひとり暮らしや老夫婦の方が増えています。

手作りのお弁当を直接お届けして、その時に安否確認もしています。

ふれあい昼食会など、お年寄りを車で送迎して、たまには皆さんで食事やお話することも良いと思い、行っています。

100人分の調理をする時がある。大きな鍋やボウルがあれば災害時にも利用できる。調理室を残してもらいたいというのが、配食のボランティアの皆さんの意見です。

(福邊克吉委員)

将来の子どもたちのための学校施設や給食室など、先延ばしできない事もある。町にお金がなければ建物は確実に建てられない。

今の公民館の耐震に問題があるというが、現に使用されていて町の職員も仕事をしている。本当に危険ならば立入禁止にすべきだが、一般の人も来て利用している状況。そうであれば、どうしても先延ばしに出来ない工事を優先すべきで、公民館は現状維持で良いと思う。

防災面では避難所に何を求めるか。

自身の命を守る分なら雑魚寝でも、オニギリ1個でも食いつないでいける。

能登とは状況が違い、ここ(一宮町)は1日我慢すれば自衛隊が来る。

館山、木更津、習志野に陸海空の自衛隊が全部ある。

快適な避難所をどこまで求めるのか。

公民館のなかに、子どもたちの憩いの場が必要との意見があるが、学校の校庭を閉鎖しておいて、公民館に子供たちの憩いの場が必要というのは、おかしな話。学童室も小学校を利用している。図書館も学校を利用できないか。

今、一番必要な施設は何かを優先して、公民館のなかで、代替えできる施設をひとつずつ探していくのが良いのではないか。

(中村雅紀委員)

長生郡内の公民館施設を私自身で見学し、資料にまとめた。

一宮町の増改築を繰り返すより新築・規模拡大で、10億円を超えてもやむを得ないと思う。建物は現在の位置に建設し、一部を3階建てにして、防災拠点・避難所の役割を果たせると良い。

大規模な図書室はいらないが、中規模の図書室の設置を望みます。

財源は、クラウドファンディング等を利用できないか。

※別添、配布資料を参照

(鈴木祐子委員)

公民館機能だけでなく、防災に対応した建物にする。

停電しないように、ソーラープラス蓄電池システムを導入。

お風呂・シャワー・宿泊室を整備し、避難所としての機能を持たせたい。

新築とし、高台に移転する。もし難しいのなら高床式のような建物に。

ふるさと納税やクラウドファンディングはあてにならない。

※別添、配布資料を参照

(川田しのぶ委員)

会議欠席 配布資料を委員の皆様参照していただきました。

※別添、配布資料を参照

(鶴沢清永委員)

会議欠席

「子どもたちや保護者の意見をよく聞いて調査してください」と要望あり。

(2) 公民館要望書の取り扱いについて

アンケートが届かなかった方やタウンミーティングに参加できなかった方にも公民館に対する意見を聞く機会を設けるため、町の広報紙、ホームページで要望書の周知を行うことを説明。検討委員の皆様承認を得ました。

4 その他

次回(第3回)以降の進め方について

- ・第2回検討委員の皆様のご意見を事務局でまとめ、次回、会議に提出します。
- ・住民ニーズ調査(アンケート、タウンミーティング、グループインタビュー)について、次回、会議に提出します。
- ・要望書は、次回の会議開催日までに提出のあったものを取りまとめて提出します。
- ・意見や要望などの各種資料を基に、どのような公民館を整備するか、検討して頂きたい。

【意見】藤井 敦委員

- ・要望書の提出について、既存の町のメールフォームがあるため、それを使ってはどうか。
⇒受付方法に追加しました。

【質疑】大場謙次郎委員

- ・町は、新しい公民館を造る前提なのか、これが一番先なのか、それともゼロベースでやるかやらないかから検討を始めて良いのか。

【回答】事務局

- ・公民館という形にこだわらずに、交流センターといった複合的施設の意見も出ている。これらを含めて検討委員会のなかで、ゼロベースで議論していただきたい。

【意見】大場謙次郎委員

- ・次回までに、公民館整備事業についてやるかやらないか、行政としての方針を検討委員会に示してほしい。

【意見】渡邊恵之助委員

- ・行政（町）が次回までに公民館をやるかやらないか言うのではなく、この検討委員会の中で方針をだしていくことになると思う。

【意見】事務局

- ・事務局としては、現在町民の民様からの要望を聞いており、次回の会議で資料を提出しますので、それを見ていただいて、検討委員会で方向性を出していただきたい。

第3回一宮町中央公民館建設検討委員会の開催日について

9月25日（水）10時～

一宮町保健センター3階会議室

5 閉会